

2015年11月20日
リコーリース株式会社

「CDP2015」において情報開示94点、実績Bランクの評価となりました

リコーリース株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長 松石 秀隆)は、国際的な非営利団体「CDP」からの気候変動に対する取り組みや温室効果ガス排出量とその開示状況に関する調査要請に回答しました。その結果、ディスクロージャー(情報開示)スコア 94 点、パフォーマンス(実績)スコア「B」ランクの評価となり、「その他金融」業界でトップとなりました。

※ディスクロージャーは 100～0 点、パフォーマンスは A～E の 6 段階で評価されます。

【CDPについて】

CDP は、2000 年に欧米を中心とした機関投資家が共同で、世界の大手企業 500 社に気候変動への質問状を送付したことに始まります。現在では運用資産総額 95 兆ドルを有する 822 の機関投資家を代表し、世界及び日本の大手企業を対象に、温室効果ガス排出量や気候変動をもたらすリスクや機会などの気候変動に関連する情報開示を求める調査を実施し、約 5,000 社の企業からの回答内容に基づく評価結果を公表しています。

【当社の気候変動への取り組み】

当社は、環境マネジメントシステムに基づく環境管理活動を展開し、年度ごとおよび中長期目標を掲げ、「1. グリーン事業」、「2. 事業活動における CO₂排出削減」、「3. 環境コミュニケーション」の 3 つを柱に環境保全活動を推進しています。また、自社だけでなくサプライチェーン全体での温室効果ガス排出量(Scope3)を 2013 年に国内 非製造業で初めて算出・公表するなど、積極的な情報開示と温室効果ガス排出の抑制に努めています。今後も社会が直面するさまざまな課題に向き合い、業界や社会をリードする役割を積極的に担っていきたいと考えています。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

リコーリース株式会社 経営企画部 渥美、直井、中野
Tel: 03-6204-0608 / Fax: 03-6204-0522
Email: ir@rle.ricoh.co.jp
URL: <http://www.r-lease.co.jp/>

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器、プロダクションプリントソリューションズ、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2015年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,319億円)。

人と情報のかかわりの中で新しい価値を生む製品、ソリューション、サービスを中心に、デジタルカメラや産業用の製品など、幅広い分野で事業を展開しています。高い技術力に加え、際立った顧客サービスや持続可能社会の実現への積極的な取り組みが、お客様から高い評価をいただいています。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「imagine. change.」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、下記をご覧ください。
<http://jp.ricoh.com/>